
ミニ物語～とおりゃんせ～

凧夜 流歌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミニ物語〜とおりゃんせ〜

【Nコード】

N7889J

【作者名】

凧夜 流歌

【あらすじ】

沙智の家に遊びに来た美和子。面白半分で歌っていたとおりゃんせ。とおりゃんせの歌詞にはある意味が込められていた・・・？

とおりゃんせ とおりゃんせ

ここはどここの細道じゃ

天神様の細道じゃ

ちつと通して下しゃんせ

御用のないもの通しゃせぬ

この子の七つのお祝いに

お札を納めに参ります

いきはよいよい 帰りは可愛い

こわいながらも

とおりゃんせ とおりゃんせ

「沙智すちはこの歌に二番あるって知つとぅ?」

一通り歌い終わって友達みわこの美和子は得意げに言った。

「え、2番なんかあんの?あの歌」

「え、知らんの?」

美和子はくすくすと笑いながらとおりゃんせの2番というものを教えてくれた。

とおりゃんせ とおりゃんせ

ここは冥府の細道じゃ

鬼神様の細道じゃ

ちつと通して下しゃんせ

贅のないもの通しゃせぬ

この子の七つの甲いに

供養を頼みに参ります

いきはよいよい 還りは可愛い

こわいながらも

とおりゃんせ とおりゃんせ

「・・・なんか怖い唄やね」

歌を聞き終ると、沙智は率直な感想を言った。

「え〜？そう？」

美和子は、まだくすくすと笑っている。

「うん、だって冥府とか、鬼神様とか・・・。怖いやん」

「そうね〜。元々この歌、食糧難で親が自分の子供を山に置き去りにするって話らしいし」

「え、まじ」

「ほら、いきはよいよい帰りは恐いって歌詞にあるやん？あれ、置いてきた子供が自分を恨んで付いて来るのが怖いんだって」

「なるほどね〜・・・」

「やっぱり怖いんじゃない！と沙智は心の中で思っただけのもの、それを口に出しはしなかった。

「あとはかえ帰りゃんせってのもあるんやけどメロディが合わないから歌わない」

美和子はにこっと笑って言った。

「別にいいよ。歌わなくて」

沙智はため息をもらしながら呟いた。

いきはよいよい帰りは怖い・・・。

沙智の家を出て家に帰ったはずの美和子は、次の日搜索願が出されていた。

(後書き)

我ながら変な終わり方……。台詞はここ、僕の出身地？ 現地の福岡で使う、ってか僕が普段使う言葉を取り入れました。読みにくかったらごめんなさい。

こちらへんは方言が薄いのか、あんまなまっではないと思うので大丈夫と思いますが……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7889j/>

ミニ物語～とおりゃんせ～

2011年10月6日14時16分発行